美術科＜第２学年＞年間指導計画・評価計画

担当（　松永覚子　）

美術科　第２学年の目標
（１）主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
（２）対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
（３）自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

知　知識　技　技能　発　発想　鑑　鑑賞　態表　主体的に表現しようと取り組んでいる。　態鑑　主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準		評価方法	小学校との関連
4	オリエンテーション ＜１時間＞ わたしのシンボルマーク	自分とは何か、という自己を見つめ、また他者との違いを受け止める大切さを伝える。	①　自分の好きなもの。好きなイメージなど、自分を見つめながらカードに絵や言葉を描く。 ②　自己 PR を兼ねて、作品を発表し相互鑑賞を行う。	発 鑑	・伝えたい内容やイメージを基に伝達の効果と美しさを考えながら表現している。 ・他者と自分の違いを認め合いながら、見方や感じ方を深めている。	ノート記入内容 発言内容 授業態度	表現に込めた思い（６年）
5	動き出しそうな動物たち ＜１３時間＞	・立体活動の基礎として、立体表現の楽しさを伝える。 ・針金や和紙、絵の具など、様々な材料に触れ、素材を味わいながら表現を広げ、新たな発見をさせたい。	①　作りたい動物の参考資料を集めさせ、取材させる。 ②　実際に新聞紙を丸めたり、ちぎったりしながら紙の特徴を理解し、表現の可能性について探らせる。 ③　取材シートや参考資料をもとに骨格を考えさせる。 ④　針金を芯材とし、新聞紙で全体の肉付けをしていく。 ⑤　新聞紙の表面に和紙を貼り、水彩絵の具で彩色する。 ⑥　作品にふさわしい場所を探して、撮影する。 ⑦　撮影した作品を相互鑑賞する。	知 技	・形や色彩などが感情にもたらす効果や表情やしぐさなど動物の造形的な特徴などを基に、その動物らしさを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・新聞紙や和紙、絵の具の活かし方などを身に付け、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	ノート記入内容 発言内容 授業態度	表現に込めた思い（６年）
6				発	・動物を見つめ、感じ取った形や色彩などの特徴の美しさ、生命感などを基に主題を生み出し、動物の動きなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練っている。	途中制作作品 完成作品 ノート記入内容 アイデアスケッチ	

7				鑑	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ノート記入内容 発言内容	
				鑑 関	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 美術の文化遺産や美術文化に関心をもち、主体的によさなどを感じ取ろうとしている。	ノート記入内容 発言内容 ノート記入内容 発言内容	
	鑑賞 美術館に行ってみよう ＜１時間＞	美術館の役割、機能について知る。	①さまざまな美術館紹介 ・役割や機能 ・仕事内容の紹介 ・夏休み中の展覧会などについて 知る。 ②夏休みの課題について	鑑	身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化の特性やよさに気付いている。 【学び合い（言語活動の充実）】	ノート記入内容 発言内容 自己評価カード	表現に込めた思い（６年）
				知 発 鑑	・コマドリアニメーションの仕組みを理解している。 ・アニメーションで表すことに関心を持ち、進んで作品を作ろうとしている。 ・自分のイメージを持ち、材料を選んだり、動かし方を工夫している。 ・自分の作品の意図を伝えたり、他の生徒の作品の良さに気づき、楽しむことができる。	途中作品 ワークシート内容 授業態度	
	コマコマアニメーション ＜2 時間＞	コマドリアニメーションの仕組みを学び、実際にアプリを使用しながら作る。実際に作り、鑑賞しあうことで、アニメーションならではの動きを学び創造的な技能を養う。	① コマドリアニメーションの仕組みを知る。 ② タブレットを使い、操作方法を理解する。 ③ 作例などをみで、イメージを広げる。 ④ まずは、思いつきのアイデ	関	西洋美術に多くの質問を出す。	ノート記入内容 発言内容	形が動く　絵が動く （第５学年）

			アで身の回りの文房具などをモチーフに実際にアニメーションを作ってみる。 ⑤　ワークシートをもとに構想を練り、表したい作品のイメージを持ち、アイデアスケッチなどを行い、作品を作る。 ⑥　プロジェクターを使用し、全員の作品を鑑賞する。				
9 10 ・ 11 ・ 12	**鑑賞** 西洋美術史：ルネサンス～現代から発表する ＜２時間＞	西洋美術の流れと作者の考え方を学ぶ。 現在アートの見方を知る。 レポートを作成し、説明できるようにする。	①西洋美術作品に関する多くの質問を提出する。 ②質問を解消するために、まず西洋美術の歴史を学ぶ。 ③なぜ、あのような作品になったのか、資料集で検索し、自分なりに説明できるようにする。 ④発表し、友達にわかったことを伝達させる。	想	友だちの質問、自分の質問を解決するために、何をどのように調べるのか計画を立てる。	計画書	図画工作でコミュニケーション（５・６年）
				創	自ら調べ、レポート作成を行う。 レイアウトを工夫し、美しい装丁を心がける	レポート作品	
				鑑	作家が探した自然や身近な環境の中に見られる形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを理解し、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解している。 【学び合い（言語活動の充実）】	ノート記入内容 発言内容	
				知 技	•形や色彩などが感情にもたらす効果や、見る角度や距離、視点の位置による見え方の違いなどを基にそこから生じる印象の変化を全体のイメージとして捉えることができる。 ・絵の具などの特性を活かし、意図に応じて表現方法を工夫して創造的に表現している。	ノート記入内容 発言内容 授業態度 途中制作作品 完成作品	
	見る角度 **～大胆に切り取り、あっと驚く視点の移動～** ＜８時間＞	見る角度や距離を変えると、見慣れた風景でも新鮮な発見があることがある。新たな視点で捉え、見つめなおした「今まで	①　２、３人グループとなり、見る角度や距離、視点の位置などを変えてタブレットのカメラ機能で実験感覚で撮影を行う。	鑑	・美術の創造活動を楽しみ、見る角度の違いや構図の工夫によってイメージの変化を感じ取ることができる。	ノート記入内容 発言内容	表現に込めた思い（６年）

		見えてなかった世界」を発見し、独自の形や色彩で描けるようにする。	②　参考作品や構図の説明などを行い、理解を深める。 ③　じぶんなりの視点を模索し、撮影を行う。 ④　撮影をした画像を基に構図、形を意識しながら絵に表していく ⑤　相互鑑賞	知思	和菓子のデザインに関心を持ち、食べる人の気持ちや季節のイメージを基に形や色彩を簡潔にしたり、総合化してデザインしている。	ワークシート記入内容 発言内容 授業態度	
1 ・ 2 ・ 3	**和菓子をつくる ～歳時記の中から新たな形と色彩を生み出す～** ＜８時間＞	季節感を主題に、食べる人の気持ちを想像して構想を練る。生活を美しく豊かにする美術の働きと、日本の美術や伝統と文化に対する理解を深める。	①　四季の和菓子に込められた思い、形や色彩などのデザイン、種類などを知り、理解を深める。 ②　暦について理解をし、形、色彩、またそれらが感情にもたらす効果などについて考える。 ③　新作和菓子の企画書ということで、ワークシートをもとにアイデアを出し、制作の見通しを立てる。 ④　樹脂粘土、アクリル絵の具、へらなどを使い制作する。 ⑤　作品（和菓子）のネーミングを考え、商品として売り出すときのコンセプトなども考え、展示する。 ⑥　相互鑑賞	鑑	自分の作品の制作意図を伝える。 ほかの生徒の作品の良さを発見し、見方や感じ方を広げる。	途中作品 完成作品 ワークシート記入	表現に込めた思い（６年）
				技	粘土の特性を活かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫している。手順などを総合的に考えながら見通しをもって制作している。	途中作品 完成作品 ワークシート記入	